

# 遊佐町少年町長・少年議会活動経過報告

概要	期日	場所等	備考
少年町長・少年議員の立候補者募集	5月13日(金)	広報遊佐 5月15日号	
立候補者受付期間	5月16日(月) ～5月20日(金)		立候補者募集開始 立候補の抱負を一緒に提出する
意見調査票 説明・配布	6月6日(月) ～6月10日(金)	各学校	各学校で意見調査票について説明・配布 後日回収
少年町長・少年議会当選証書交付式	6月12日(日)	議事所	当選証書交付
第1回少年議会	6月12日(日)	議事所	所信表明
第1回全員協議会	6月12日(日)	遊佐町役場 (202会議室)	自己紹介、オリエンテーション
意見調査票 回収・集計	6月13日(月) ～6月17日(金)		各学校を訪問 担当教諭より意見調査票を回収
第2回全員協議会	7月4日(月)	生涯学習センター (視聴覚室)	オリエンテーション、意見調査票の集計結果の検討
第3回全員協議会	7月15日(金)	生涯学習センター (視聴覚室)	夕日コンサートへの対応について 海岸清掃活動への参加について 政策提言の検討について
第4回全員協議会	7月24日(日)	生涯学習センター (視聴覚室)	政策提言の検討について 盆踊り大会への参加について
夕日まつり	7月30日(土)	西浜海水浴場	募金活動 ティッシュ等配布 環境美化啓発活動・海岸美化清掃に関するアナウンス
海岸美化清掃	7月31日(日)	西浜海水浴場	清掃活動
第5回全員協議会	8月8日(月)	生涯学習センター (視聴覚室)	政策提言の検討について
第42回盆踊り大会	8月14日(日)	大会会場	盆踊り大会への参加
第2回少年議会	8月21日(日)	議事所	政策提言
第6回全員協議会	8月26日(金)	生涯学習センター (視聴覚室)	鳥海ツーデーマーチへの対応について 政策の実施に向けた検討
第19回鳥海ツーデーマーチ1日目	9月3日(土)	町民体育館前広場	出発エール 米～ちゃん(着ぐるみ)見送り ボランティア活動
第19回鳥海ツーデーマーチ2日目	9月4日(日)	町民体育館前広場	出発エール 米～ちゃん(着ぐるみ)見送り ボランティア活動
第7回全員協議会	9月5日(月)	生涯学習センター (ボランティアルーム)	政策の実施に向けた検討(ワークショップ)
第8回全員協議会	9月8日(木)	生涯学習センター (ボランティアルーム)	政策の実施に向けた検討(ワークショップ)
第5回笹巻きサミット	9月17日(土)	しらい自然館	特産品に関する勉強会
第9回全員協議会	9月22日(木)	生涯学習センター (ボランティアルーム)	政策の実施に向けた検討(ワークショップ)
第10回全員協議会	10月4日(火)	生涯学習センター (視聴覚室)	政策の実施に向けた検討(ワークショップ)
第34回鳥海山神鹿角切祭	10月10日(月)	大平山荘	角切イベント 抽選会司会・プレゼンター
第11回全員協議会	10月19日(水)	生涯学習センター (視聴覚室)	政策の実施に向けた検討(ワークショップ)
第12回全員協議会	10月25日(火)	生涯学習センター (視聴覚室)	政策の実施に向けた検討(ワークショップ)
被災地支援(現地ボランティア1回目)	10月27日(木)	宮城県石巻市	石巻市で現地ボランティア作業
被災地支援関係者懇談会	10月29日(土)	酒田市社会福祉協議会	酒田市ボランティア団体・南三陸町「平成の森(仮設住宅群)」代表と交流
遊佐町立図書館開館20周年記念事業 図書館まつり	10月30日(日)	遊佐町立図書館	子供の引率、風船配り、米～ちゃん・ライちゃん着ぐるみ、紙芝居、抽選会
第13回全員協議会	11月 2日(水)	生涯学習センター (視聴覚室)	政策の実施に向けた検討(ワークショップ)
公民館祭り1日目	11月 5日(土)	生涯学習センター	綿あめづくり

# 遊佐町少年町長・少年議会活動経過報告

概要	期日	場所等	備考
公民館祭り2日目	11月6日(日)	生涯学習センター	綿あめづくり
特産品開発	11月12日(土)	生涯学習センター (調理室)	前年度の政策を引き継ぎ、試作品づくりを実施 芋煮コロッケ・アップテトのレシピの確認
第10回遊佐町子育てフォーラム	11月13日(日)	生涯学習センター (ホール)	少年議員3人(茂木少年町長・日高少年議長・仲鉢少年副議長)から発表
ぽっかぽかクラブバザー	11月13日(日)	トレーニングセンター	フリーマーケット参加
特産品開発試作(1回目)	11月13日(日)	生涯学習センター (調理室)	前年度の政策を引き継ぎ、試作品づくりを実施 芋煮コロッケ・アップテトの試作
第14回全員協議会	11月15日(火)	生涯学習センター (ボランティアルーム)	政策の実施に向けた検討(ワークショップ)
特産品開発試作(2回目)	11月20日(日)	生涯学習センター (調理室)	前年度の政策を引き継ぎ、試作品づくりを実施 芋煮コロッケ・アップテト・パブリカのクレープ試作
第15回全員協議会	11月21日(月)	生涯学習センター (視聴覚室)	政策の実施に向けた検討(ワークショップ)
PR(ジブリ)	11月23日(水)	町内観光名所各所	景観写真撮影を通じた町内観光名所の視察・勉強会
ユースセミナー	11月24日(木)	生涯学習センター (第1研修室)	ユースセミナーの打ち合わせに参加
第16回全員協議会	12月6日(火)	生涯学習センター (視聴覚室)	政策の実施に向けた検討(ワークショップ)
イルミネーション点灯式	12月8日(木)	遊佐駅前	米〜ちゃん・らいちゃん着ぐるみ
被災地支援(現地ボランティア2回目)	12月10日(土)	宮城県石巻市	石巻市で現地ボランティア作業 (遊佐高校生徒会との協力により、遊佐高校生も多数参加)
箕輪鮭の孵化場見学・体験	12月11日(日)	箕輪孵化場	鮭の解体作業見学・体験
第17回全員協議会	12月13日(火)	生涯学習センター (小研修室)	政策の実施に向けた検討(ワークショップ)
被災地支援	12月15日(木)	生涯学習センター (ロビー)	支援物資の募集(遊佐高校 地域公開研究発表会)
特産品開発試作(3回目)	12月17日(土)	生涯学習センター (調理室)	前年度の政策を引き継ぎ、試作品づくりを実施 芋煮コロッケ・アップテト・パブリカのクレープ試作
第18回全員協議会	12月17日(土)	生涯学習センター (小研修室)	政策の実施に向けた検討(ワークショップ)
第3回少年議会	12月18日(日)	議事所	政策評価、次期少年議会へ伝えたいこと
第19回全員協議会	12月26日(月)	生涯学習センター (小研修室)	政策の実施に向けた検討(ワークショップ)
歳の市(軽トラ市) 特産品開発試作(4回目)	12月29日(木)	遊佐駅	前年度の政策を引き継ぎ、試作品づくりを実施 芋煮コロッケ・アップテト・パブリカのクレープ 販売
第20回全員協議会	1月4日(土)	生涯学習センター (小研修室)	政策の実施に向けた検討(ワークショップ)
第21回全員協議会	1月12日(木)	生涯学習センター (小研修室)	政策の実施に向けた検討(ワークショップ)
庄内青少年育成推進員研修会	1月15日(日)	鶴岡市湯野浜「海麓園」	第9期少年議会活動報告
ゆざミュージックフェスティバル	1月29日(日)	生涯学習センター	ゆざミュージックフェスティバル 本番
鍋合戦(軽トラ市) 特産品開発試作(5回目)	2月5日(日)	街角サロン・遊佐駅	前年度の政策を引き継ぎ、試作品づくりを実施 芋煮コロッケ・アップテト 販売

# 遊佐町少年町長・少年議員公選事業実施要項（第9期）

1. 名称 遊佐町少年町長・少年議員公選事業

2. タイトル 「若者の力で、遊佐の未来をつくろう」

常に、歴史は若者によって創られてきました。地域の青年たちは、いつでも地域を変革していく「力」を蓄えています。青年たちが自分たちの住むまちを自分たちの協働の「力」で変革しはじめるとき、時代が拓かれ地域の民主主義が再生します。そして、地域の中で若者たちが生活者として認識され、若者たちの居場所と出番が地域の中に見えてきます。そのことを通じて、若者が生き生きと生活していく自立した地域が再生されます。

3. スローガン

自分たちの力で、自分たちが本当に求める遊佐のまちをつくろう。

遊佐町は、私たちが生まれ育った町です。鳥海山、月光川、庄内砂丘と日本海に抱かれ、豊かな自然や歴史風土あふれる町です。

21世紀をむかえ、私たちの前には地球規模での環境の悪化、エネルギー、食糧、人口問題、さらに、民族問題、経済格差などの新たな問題や課題が横たわっています。改めて、これまでの社会、経済そして私たちの「生き方」「あり方」「生活の仕方」そのもの大転換が迫られています。

そして、さらに私たちを取り巻く仕組みの大きな変化として「分権社会」が到来し、自分たちの生き方を自分たちが決めていくという社会システムを構築していくことが求められています。こうした状況をふまえて、若者たちの意見や願いをもとに若者の力で遊佐町の地域づくりを行おうとするものです。

4. 事業のねらい

- (1) 若者たちが、自らの代表を直接選び、政策を実現していくことで、学校外で民主主義を実際に体験・学習することにより社会の構成システムを学ぶ。
- (2) 中高校生等の未来を担う若者の視点から、町政への提言や意見を町が積極的に採り上げることを通じて、若者の町政参加を促す。
- (3) この事業に関わるすべての関係者が、若者の町政に対する意見に学び、併せて若者たちが、社会システムや民主主義を相互に学ぶ場としたい。(相互教育)

5. 少年町長・少年議会の構成対象者

遊佐町在住の中高校生及び遊佐町に通学する高校生。

構成者はだれでも、少年町長及び少年議員の選挙権と被選挙権をもつ。

また、少年議会では、自らの政策立案と少年町長の議案審議権を有する。

6. 構成員

- |                |   |
|----------------|---|
| (1) 少年町長（1名）   | 構成対象者のうち少年町長に立候補し、全構成者の投票により信任された者  |
| (2) 少年議員（10名）  | 構成対象者のうち少年議員に立候補し、全構成者の投票により信任された者  |
| (3) 少年副町長・少年監査 | 少年町長・少年議員に立候補し、当選できなかった者のうちから、少年副町長（若干名）・少年監査（若干名）を委嘱できるものとする。委嘱された少年副町長・少年監査は、少年議会の構成員となる。 |

7. 少年町長

少年町長は、遊佐町少年町長・少年議員公選事業にかかる全ての構成者の代表であり少年議会承認された政策の実現のため遊佐町長に対して、予算要求を行う権限をもつ。

また、遊佐町長より交付された政策予算の予算執行権をもつ。

## 8. 少年議会

少年議会は、少年町長が招集し議案を提案し承認を得る。少年議会は、最初の議会に議長及び議長代理を選任するとともに、少年町長の議案審議を行う。

併せて、自ら少年政策立案を少年議会の場で行うことができる。

## 9. 少年副町長

少年町長を補佐し、少年町長不在の場合、臨時的に政策実現における執行権限をもつ。

## 10. 少年監査

少年監査は、少年議会の附属機関として、予算執行に関する監査権をもち、少年町長に勧告することができる。

## 11. 事業期間 平成23年4月～12月(第9期)

## 12. 事業スケジュール(概要)

平成23年 4月 第9期プロジェクトチームの立ち上げ(遊佐町役場内)  
平成23年 5月 各高校への協力お願いと生徒への主旨説明  
平成23年 5月 立候補者対策  
平成23年 5月 少年町長及び少年議会議員立候補者受付・立候補者チラシ作成  
平成23年 6月 全構成員による直接選挙  
平成23年 6月 当選証書の交付及び事業説明  
平成23年 6月 第1回少年議会  
平成23年 7月～8月 政策討議  
平成23年 8月 第2回少年議会  
平成23年 8月 遊佐町長への予算要求  
平成23年 9月～ 予算執行(事業の実施)  
平成23年12月 第3回少年議会  
平成23年12月 末日、任期満了

## 13. 留意点

### (1) 中学生・高校生への周知方法

- 専用HPを開設する。ー遊佐町公式HPへ
- 各高校長あて協力依頼文書を発送する
- 遊佐中学校及び各高等学校へ出向き、学校側に趣旨を説明するとともに、当該生徒を集めて説明会を開催し投票への協力を依頼する。(プロジェクトで分担)
- 対象者用チラシ、ポスターを作成する。

### (2) 町民への周知方法

- 専用HPの他、広報を活用する。

### (3) 選挙管理の方法(投票事務)

投票事務は次のとおりとする。

#### ①管内高等学校・遊佐高等学校・遊佐中学校

各学校ごとに投票期間中1日を投票日に設定し担当プロジェクトが出向き行う。

投票管理は、投票用紙を配布し有権者の意見を記載して候補者の投票を行う。

②管外高等学校

立候補者告示にあわせて、選挙広報及び投票用紙を各高校に送付し、対象者に配していただくよう依頼する。投票は、遊佐駅、吹浦駅、遊佐町中央公民館、遊佐町立図書館に設置された投票箱にて行う。

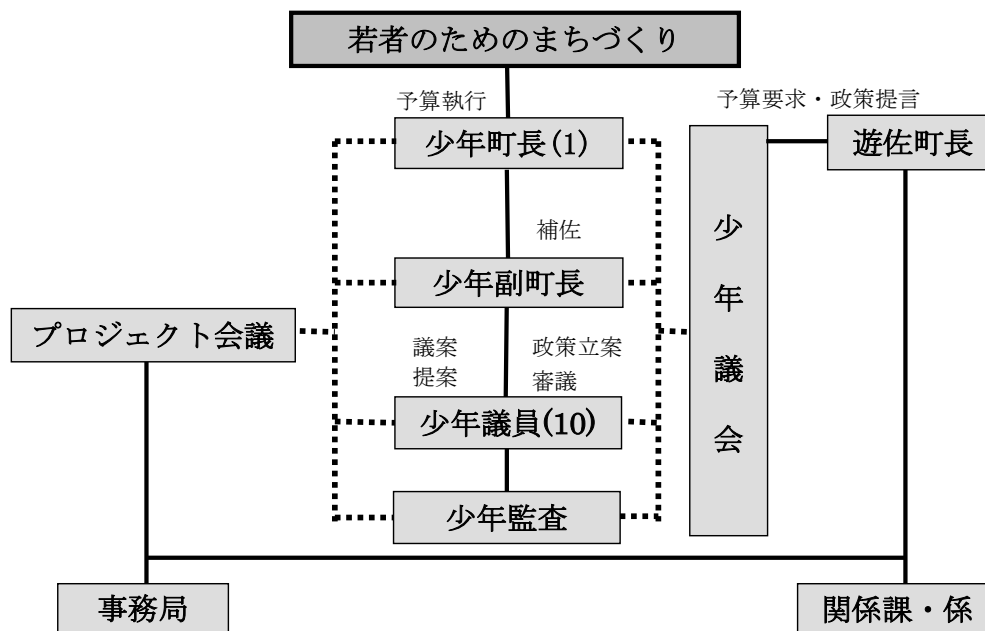
③遊佐町内公共機関における投票箱の管理は、各施設管理者にお願いする。

④開票事務は、少年町長・少年議員経験者にお願いする。

(4) 予算

- 政策予算 全期間を通じて450,000円とする。但し、町への提言に伴う予算は、所轄課で予算化する。

遊佐町少年町長・少年議会公選事業構造図



# 第9期

# 少年町長・少年議員 立候補者募集

**受付**  
遊佐町教育委員会  
教育課

## 1 「選ぼう」

遊佐町に住む中学生・高校生と遊佐町に通学する高校生から「少年町長」「少年議員」の立候補を受け付け、選挙によって「少年町長」「少年議員」を選び、「少年議会」を開催します。

**立候補者受付期間** 平成23年5月16日(月)～20日(金)

**公選で選ぶ人** (1)少年町長 1人 (2)少年議員 10人

少年町長・少年議員に当選できなかった人は少年副町長・少年監査に就任いただきます。

### 立候補の仕方

立候補用紙で直接またはFAXによる届け出、もしくは学校の先生への提出にて受付します。

## 2 「討議しよう」

遊佐町の若者の代表として、議会・全員協議会を開催し遊佐町に様々な意見を届けてもらうとともに、自分たちで「中学生、高校生の政策」を議論し決めていきます。自分たちの決めた政策を、政策予算45万円を用いて実現していきます。

## 3 「実現しよう」

### 主な活動内容

- ・有権者の意見集約と町への政策提言
- ・政策予算による自分たちの政策実現のための活動  
(例 B級グルメづくり、米～ちゃん絵本「米～ちゃん一家のキメコトバ」発行等)
- ・町内各種イベントへの参加  
(例 鳥海ツーデーマーチ、神鹿角切祭、海岸美化啓発・清掃活動 等)



第2期少年議会において「遊佐町をもっとPRしてほしい」という有権者の意見を実現するために、少年議会がイメージキャラクターを募集し決定しました。

# 自分たちが本当に求める遊佐のまちを、 自分たちの力でつくろう!!

## 少年町長・少年議員立候補届

少年町長・少年議員 に立候補します。(○をつける)

氏名	
住所	
TEL ( )	
学校名	学年

以上のおとり立候補します

立候補の抱負

### 問い合わせ・連絡先

遊佐町少年町長・少年議員公選事業事務局  
遊佐町教育委員会教育課社会教育係  
〒999-8301 遊佐町遊佐字鶴田52-2 遊佐町生涯学習センター内  
TEL.0234-72-2236

届け出は ▶ FAX.0234-71-1222

# 遊佐町少年町長・少年議員投票用紙

## 1 遊佐町少年町長立候補者（定数一名）

あなたが、少年町長としてふさわしいと思う人に一人だけ○をつけてください。

※二人以上に○をつけたり×などを記入すると無効票となりますので、注意してください。

○をつける欄		候補者氏名	性別	地区	所属
		土門 光	男	稲川	県立遊佐高等学校3年
		佐藤 翼	男	遊佐	県立酒田工業高等学校3年

## 2 遊佐町少年議員立候補者（定数十名）

定数が、十名に対して立候補者が七名でしたので、左記の七名が当選と決定しました。従って投票はありません。

当選	当選	当選	当選	当選	当選	当選	候補者氏名	性別	地区	所属
当選	当選	当選	当選	当選	当選	当選	佐藤 眞優	女	西遊佐	町立遊佐中学校2年
当選	当選	当選	当選	当選	当選	当選	高橋 夏希	女	遊佐	町立遊佐中学校2年
当選	当選	当選	当選	当選	当選	当選	佐々木 祐紀	女	遊佐	町立遊佐中学校2年
当選	当選	当選	当選	当選	当選	当選	石垣 俊介	男	稲川	町立遊佐中学校2年
当選	当選	当選	当選	当選	当選	当選	茂木 惟孝	男	遊佐	県立遊佐高等学校2年
当選	当選	当選	当選	当選	当選	当選	渋谷 巧真	男	遊佐	県立遊佐高等学校3年
当選	当選	当選	当選	当選	当選	当選	阿部 真結花	女	遊佐	県立遊佐高等学校2年

遊佐町のこれからのまちづくりのために、中学生・高校生みなさんの意見をおよせください。少年町長・少年議員に当選するみなさんに、あなたの意見を届けましょう。

## 1 あなたは、遊佐町が好きですか、きらいですか。その具体的な理由とあわせて記入ください。

好き ・ きらい （いずれかに○をつけてください）

その理由

## 2 あなたは、これからの遊佐町がどんな町になってほしいとねがっていますか。自由に記入ください。

## 3 あなたは、少年町長・少年議員にどんなことを実現してもらいたいとおもいますか。自由に記入ください。

「ご意見ありがとうございました。」

遊佐町少年町長公選投票のお知らせ

○投票日 六月二一日～二五日（午後5時まで）

○投票場所 遊佐町立図書館・遊佐駅

その他、各高等学校や中学校でも投票できます。学校によっては投票所を設置していない高校もありますので、その場合は、前記の場所で忘れずに投票してください。

# 遊佐町 少年町長・少年議会広報

明日の遊佐町に  
わたしたちは  
提案します



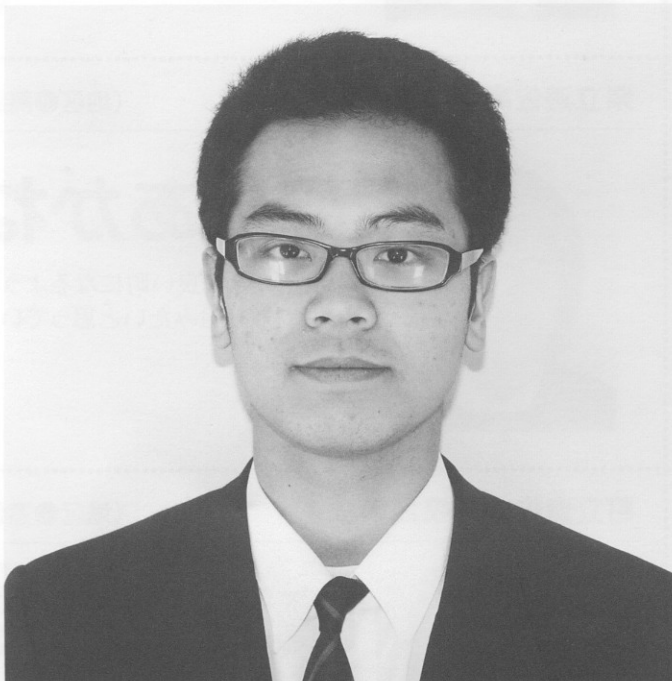
Be-chan  
米〜ちゃん  
遊佐町イメージキャラクター

## 第9期少年町長・少年議員決定

遊佐町では平成23年5月16日(月)から5月20日(金)まで、第9期少年町長・少年議員立候補者受付を行い、少年町長に1名、少年議員に9名の立候補がありました。その結果、少年町長・少年議員ともに定員以内だったため、立候補者全員の当選が確定しました。今後、少年議会は遊佐町の若者の代表として活躍していきますので、みなさん応援よろしくお願ひします。

また、これからの少年議会の活動のもととなる有権者のみなさんから、遊佐町に対するご意見を受け付けます。学校にて配布される用紙に記入の上、下記事務局までお寄せください。メール、ファクシミリでも受け付けます。

みなさんのご意見が、明日の遊佐町をつくります。多くのご意見をお待ちしています。



## 少年町長

県立遊佐高等学校3年 (地区●遊佐)

もて き

よし たか

# 茂木 惟孝

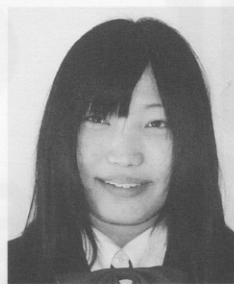
私は少年町長として、この少年議会を引っ張っていき、例年の少年議会を超える様な少年議会にしていきたいです。



# 遊佐町 少年議員

県立遊佐高等学校2年

(地区●西遊佐)

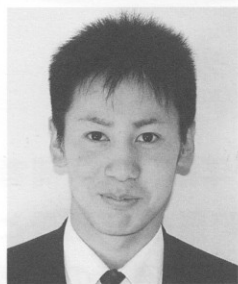


さとう みどり  
**佐藤 緑**

遊佐町をもっと活発的な町にしたいと思います。より多くの方にとって頂ける様PRしていきたいです。

県立遊佐高等学校2年

(地区●藤岡)

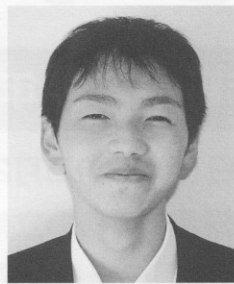


ちゅうばち かずま  
**仲鉢 和真**

僕は遊佐町を活発にしたいと思い、少年議員の一員になって活動をしていきたいので立候補しました。

県立遊佐高等学校2年

(地区●酒田)

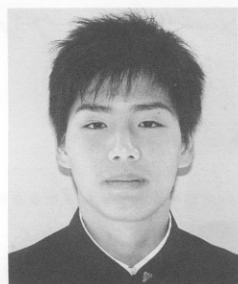


ひだか たつ のり  
**日高 龍功**

遊佐高校に入学し、遊佐で1年間過ごしてみて、僕も遊佐の美しい環境を守るために考え、発言し、活動したいと思い、立候補しました。

県立酒田北高等学校1年

(地区●遊佐)



いけだ たかひろ  
**池田 貴裕**

遊佐町に住む同世代の皆さんと共に意見を出し合いながら、この自然豊かな町をもっと活発にし、支えとなっていくよう頑張っています。よろしくお願いします。

県立遊佐高等学校1年

(地区●吹浦)

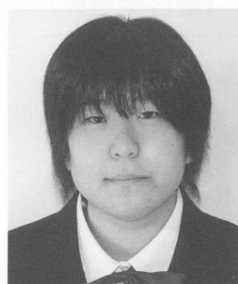


かとう あつこ  
**加藤 敦子**

遊佐町をより良くしていくと同時に、人に自分の意見を伝えるということで、自分に自信を持てる様に頑張りたいです。

県立遊佐高等学校1年

(地区●稲川)

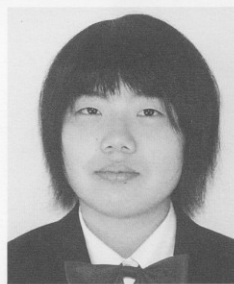


くりた あおい  
**栗田 葵**

遊佐町をより良い町にしていきたいと思います。頑張るので、よろしくお願いします。

県立遊佐高等学校1年

(地区●高瀬)



すがわら  
**菅原あかね**

遊佐町がより良い町になるように、全力で取り組みたいと思っています。

町立遊佐中学校2年

(地区●西遊佐)

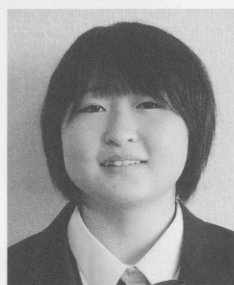


いはら いおり  
**伊原 伊織**

初めてなので、何をするのか分からないけれど、みんなの迷惑にならない様、自分の仕事に責任をもって頑張りたいです。

町立遊佐中学校2年

(地区●遊佐)



わたなべ なつき  
**渡邊 渚月**

先輩議員の方達と共に、遊佐町がより良くなるように、意見を出し合い色々なイベント等で頑張りたい。

## 第9期少年議会 主な活動内容

### 海岸美化啓発、募金活動、清掃活動を行いました



少年議会では、7月30日(土)に西浜花火大会会場場で海岸美化啓発活動を行いました。少年議会が考案した啓発文が記載されたポケットティッシュと、ゴミの持ち帰りを目的としたエチケット袋を来場者に配布し、ポイ捨て防止やマナーアップを呼びかけました。また、被災地支援として募金活動を行いました。

それから翌日7月31日(日)には、町内のたばこ販売業組合の皆さん、遊佐鳥海観光協会の皆さんと共同で、海岸の清掃活動を行いました。約1時間の作業で大量のゴミが回収されました。

#### 海岸美化啓発標語

○捨てないで!! ゴミで変わる まちの未来



### 第19回奥の細道鳥海ツーデーマーチ

9月3日・4日と2日間に渡って第19回奥の細道鳥海ツーデーマーチが開催されました。少年議会では、全国各地から参加された皆さんにあいさつを交わし合いながら楽しく歩きましょうと、元気にエールを送りました。エールの中では、これまでの活動を踏まえて遊佐の雄大な自然のPRや、自然保護の呼びかけも行いました。



## 鳥海山神鹿角切祭に参加しました



10月11日大平山荘で行われた第33回鳥海山神鹿角切祭に参加しました。神事に続き、佐藤翼少年町長と、石垣俊介少年議員が神主の衣装である直垂（ひたたれ）姿で、立派に成長した鹿の角をのこぎりで切り落としました。その後、少年議会全員で、縁起物とされる切り落とした鹿の角や、その他素敵な商品が当たる抽選会でスタッフとして活動しました。

## 被災地支援



10月27日と12月10日に東日本大震災の被災地である宮城県石巻市に被災地支援に行きました。側溝の泥あげや被災現場の見学を行い、また被災された方から当時の状況について説明を受けるなどしてきました。

テレビや新聞で情報を得ることで理解しにくかった現状を、自分達の手で見て自分達の耳で聞くことを通して、現地の現状を適格に把握し理解することが出来ました。

機会があれば、また現地に行き、微力ながら復興の力になればと思っています。

## 遊佐町の特産品づくり



遊佐町をPRするため、町の特産品とすべくB級グルメの開発に取り組みました。

はじめに中高生を対象としたアンケートを実施し、どの食材を掛け合わせたものがよいのかを調べました。結果をもとに前期の取り組みを引き継いだ「芋煮コロッケ」「さつまいもとリンゴのコロッケ（アップテト）」と今期オリジナルの「パプリカのクレープ」を作ることにし、食の玉手箱の佐藤憲三さんの協力の下、試作を重ねてきました。

完成品は年末の歳の市で販売されるほか、1月に行われる「遊佐ミュージックフェスティバル」でも来場された方に配布する予定になっています。

今後は、販売までの道筋を検討していきます。



# 少年議会

## 政策提言

# 1

【施政方針・一般質問・私の政策】

平成 23 年 8 月 21 日（日）

第 2 回少年議会

### 施政方針

## 少年町長 茂木 惟孝

第 2 回少年議会を開催するにあたり、施政方針を申し上げます。

第 1 回少年議会以降、全員協議会を数回にわたり開催し、今期の目標コンセプトを検討してきました。協議内容を踏まえ、第 9 期少年議会では、

- ①豊かな自然や伝統行事など受け継がれてきたものを引き継ぐ
- ②若者が楽しめる町づくり

この 2 つをキーワードとして活動を進めていくことにしました。

投票の際に一緒に書いてもらった若者の意見調査によると、「イベントを開催してほしい」「活気がほしい」という意見が多数見られました。

これを受け今後は、遊佐町を活気あふれる町にするために若者を中心としてお年寄りまで幅広い世代の人が楽しめるイベントをみんなで考えていきたいと思えます。

今後の活動は、町民の皆さんからの理解や、協力なくして進めることはできません。皆さんと力を合せ取り組んでいきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

以上を施政方針とします。

### 一般質問

## 少年議員 伊原 伊織

【Q】 私からの町への要望は、利便性の向上のため、公共交通機関の整備をしてほしいということです。

私が住んでいる地区は、遊佐町の中心部から遠いので不便なことが多くあります。

小学生や中学生、高校生などは友達と町内や酒田などで遊ぶときに行きや帰りに時間がかかりなかなか遊べなかったり色々なイベントがあったとしてもそこに行くまでが難しかったりします。

また、主婦などのよく買い物をする人が遊佐町の食べ物を買うことで地産地消をして遊佐町を活性化しようと考えても地域によっては、酒田のほうが遊佐よりも近く、また、便利なため、そちらを利用する人も多くいます。

それから、電車などで毎日通勤、通学をしている人たちは、電車の本数が少ないという意見が多く、また、遊佐町に観光に来た人たちにとっても一つの電車に乗り遅れると一時間以上またなければいけないことになってしまいます。

私は、公共交通機関を整備することで、他の地域との交流を促進できたり、世代を問わずみんなが交流を深めたりすることの出来る環境を整えることができると思えます。

そのため、町でぜひ、公共交通機関の整備を進めてほしいです。

【A】 お答えしたいと思います。

現在遊佐町で運営している公共交通機関が、町営バス8路線、それからデマンドタクシーの2種類ございます。町営バスにつきましては、みなさん、スクールバスと混乗していらっしゃるのでもみなさんよくご存じかと思えます。いわゆる通勤・通学の時にはけっこう人が多いのですが、中間の時間は非常に人が少ないという現状になってございます。いっぽうデマンドタクシーは、平成20年からはじまったわけですが、年々人が増えて来ています。今年の6月からは、前は500円、一区間、となりの区間まで500円だったのですが、二区間またぐ、たとえば吹浦から蕨岡のほうに行く場合は、1,000円のところを割引して700円というふうになっていたのですが、今年の6月15日からはすべての区間が500円ということにいたしました。そういうこともありまして、こちらのデマンドタクシーのほうは、逐次、人がどんどん増えておりますので、順調に推移しています。

それにしましても、交通機関が他のたとえば酒田市、あるいは鶴岡市、あるいは山形市と比べますとかなり整備のほうは遅れていると申しますか、かなり少ないなということは認識しております。ただ、このデマンドタクシーと町営バスのいわゆる二つのですね、経営も含めながら今後、遊佐町における公共交通機関がどのようになればいいのかということは今、検討してございますので、ぜひ、皆様のご期待に添えるような形で、これを増やしていく、あるいは整備していくということを考えたいと思えます。

この公共交通機関ですけれども、ひとつには、いわゆる、100円の儲けをいわゆる利益を得るためにいくら費用がかかっているかというのがございまして、今のところ1,000円ほどかかっておりますので、その辺のことも含めながら一番効率的に、一番利便性があるような形で、ご期待に添えるような形で整備していきたいというふうに思っております。なお、JRにつきましては、我々の所管ではないのですが、県、国のほうに、この利便性に添えるように、要望してまいりたいと考えてございます。以上です。

## 一般質問

### 少年議員 加藤 敦子

【Q】 私の遊佐町への要望は、旧吹浦小学校跡地の有効活用についてです。

あの広い敷地をあのままにしておくのはもったいないと思えます。遊佐町では旧吹浦小学校跡地をどのような形で有効活用していく予定でしょうか。お聞きしたいです。私はなにかみんなが参加できるような行事に利用できたらいいなと思えます。遊佐町にも行事はたくさんあると思いますが、町全体で行う行事は、あまりないような気がします。なので、旧吹浦小学校跡地で今までになかった行事をしてもらいたいです。

たとえば、どの地区でも住民運動会はあると思えますが、その住民運動会で優勝した部落を集めて地区代表として、大運動会を行ったり、吹浦は海が近くにあるので、旬の魚を使ったまつりを開催したりできたら面白いのではないかと思います。

このような行事を行うことで、高齢者と若い世代だけでなく、いろんな地区同士が楽しく、交流できる場になればいいなと思えます。しかし、いろいろな行事を開催したり、何かの施設を建てたりするにしても、一番大切なのは、環境整備になってきます。今の旧吹浦小学校跡地を見ると、グラウンドのいろんなところに雑草があったり、小石がたくさん散らばっていたりなど全く整備されていない状態になっています。このままにしておくと、たまに遊びに来る幼稚園児な

# 政策 提言 ①

どに危害が及ぶ可能性が出てくると思います。事故なく安全な遊佐町にするためにも、旧吹浦小学校跡地の環境整備を行ってほしいです。きれいになった旧吹浦小学校跡地で新しい行事を行い、遊佐町の活性化につなげていけたらと思います。

【A】 加藤議員のご質問、一般質問にお答えいたします。

新しい吹浦小学校ができて、そのことを踏まえて昔の古い校舎を昨年度解体をしました。解体をしたあとは、現在、ごらんとおり、お話のとおり空き地になっているということになっております。この空き地について、旧校舎の跡地については有効活用したいということで町のほうでも考えているところでございます。どういうふうな形でこの旧校舎跡地を利用しているかということについては、いろいろな検討が必要だということにして思っておりますけれども、昔の吹浦小学校旧校舎があそこに建てられたのは、明治の中頃かなというふうにして思いますが、いわばその地域の心のよりどころという形で、あそこに暮らした人たちが学校ということを通して、ずいぶん愛着のある、あるいは思い出の場所ということになっておろうかと思っております。そういう意味では、あその場所をどのような形で利用していくかということについてはやはり、地元の方々のその希望やご意見やらをお伺いする必要があるのではないかなというふうにして思っております。そういう意味で吹浦地区の町づくり協議会のほうにどういう利用の仕方がいいでしょうかということについて検討してくださいというお願いをしております。そういう形でそこから出た意見をふまえながら町としても、どういう利用がいいかということでの判断をしていかなければならないという方向性で、今考えているところでございます。当然いろんな形で利用することになれば、整備も当然必要になってきますし、そのためのお金、予算ということも必要になってくるかと思っております。そういう手続きをふまえながら、これから町としてもあそこをできるかぎり有効に使いたいということで考えてございますので、今のところ検討中ということでございますけれども、そういう形で進めさせていただければと思っております。以上です。

## 一般質問

### 少年議員 菅原 あかね

【Q】 私が町に要望したいことは、街灯の設置数を増やすことです。

具体的に街灯を増やしてほしい個所は、吹浦や高瀬、山の近くです。理由は、街灯が少ないところだと夜になると真っ暗になってしまい、とても危険であるからです。私が中学生だったとき、バス通学だったので、バス停から自分の家まで帰るとき、暗くて一人だととても不安な思いをしました。それに真っ暗だと、自動車と自転車、または人との衝突事故などや、ひったくりなどの犯罪も起きやすくなるのではないかと思います。

これらの理由から、町民の安全確保のためにも、街灯の設置数を増やしてほしいと考えます。

【A】 菅原あかねさんからいただきました、防犯、安全対策。このことにつきましては、町の基本的なこと、方向を定めている遊佐町の「新総合発展計画」。この中でも安心して暮らせる町づくりということで、町づくりの基本的な柱の大きな大切なこととしての柱の一つになっております。現在、防犯安全対策として、町内に設置している照明につきましては、道路の交差点等に設置している大きな照明である、道路照明灯、それから、暗い場所に防犯安全用に設置している蛍光灯等の防犯灯、それから遊佐の町中とか、吹浦の町中にありますように設置している街路灯というよ

うなものがあります。今回、あの、防犯安全用に集落等に設置している防犯灯につきましては、集落内に設置する防犯灯と、集落と集落の間の通学路に設置する防犯灯の2種類があります。どちらについても町が設置をしますけれども、その後の管理については、集落内に設置した防犯灯については、その集落で電気料の支払いや修理も行っていただいております。町では、そのお金の一部を支援をさせていただいているという形になります。通学路の部分については、町で電気料の支払いや修理を行っているということになります。そういった関係があるものですから、防犯灯を設置する場合には各集落の区長さんを通して要望を受け付けているというのが今のルールになってございます。通学路について、昨年度要望をいただきました個所についても、14か所くらいになるんですが、すべて設置をしているというところなんです。それから、このことについては、身近な問題として少年議会の議員の皆さんからもこれまで何度となく要望をいただきました。その中で通学路につきましては、今年度の予定として以前ご要望をいただきました、これは少年議会の中でご要望をいただきました大楯一上大内間、これを三年かけて整備をしてございます。1/3区間、今年度終了いたしますと、すべてご要望の区間、防犯灯の設置が終わるという予定になっている見込みでございます。通学路への設置要望については、その防犯灯をつけるための電柱がないという状況もありますので、ポールを立てなければならぬ場所が多くなっております。状況によって違いますが、何年かかけて設置をしている状況だということになります。菅原さんのほうからは具体的に通学等を通して、やっぱり不安に感じているというような思いをよせられました。具体的な場所をやはり教えていただいて確認をさせていただければと思いますし、どのような取り組みができるのか地域のみなさんの考え方もいただきながら、一緒に検討してみたいと思っております。町では、これらの防犯灯の整備に向けて、今環境問題ということも非常に大きなテーマになってございます。防犯灯をこれまで更新するときは、つけるときは役場でつけるんですが、更新するときは集落の皆さんでお願いしますよという形でありました。今後これについても助成を考えてございます。特にLEDという照明器具を使った場合には、しっかりと補助といいますか、助成をしながらやっていきたいというようなことで、なるべく町全体が環境に配慮した防犯灯への移行が可能ないように考えてございます。このことについては、こういう考え方で進めてよろしいですか？という起案書、考え方を町長のほうに出していると、上げているという最中ですが、その決定をいただければ9月の1日から実施をしたいと、この要綱を施行したいということで考えております。また、区長のみなさんにもそういったお知らせをしたいと考えておりますので地域の皆さんともいろんな、地域のみなさんにも菅原さんの思いも届けていただければありがたいかなと思っております。以上であります。

## 一般質問

### 少年議員 池田 貴裕

【Q】 僕から除雪について町へお願いしたいことがあります。

僕が暮らしている平津新田は、水田に囲まれて戸数17と小さな地区です。現在、小中高生合わせて6人と子供の数はほかの地区に比べて少なく、遊佐小学校へは3kmの道のりを歩いて通っています。徒歩通学では、かなり長いほうだと思います。遊佐交通手前までは、交通量は少ないのですが、そこからはだんだんと多くなっていきます。保育園の送迎車、バス等が走るからです。冬期間の除雪は、決して万全ではありません。平津新田の比較的道幅の広い道路は、町の除雪車が早朝から稼働し、除雪を行っています。とてもありがたく思いますが、小道に入るとまったく

とっていいほど除雪はされていません。僕の自宅は、小道の奥にあり、自宅前の道路は、公道でありながら舗装も途中までです。自費で砂利をしき、除雪も家族で行います。もちろん、他の家庭でも除雪をしないと家から出ることができないのは同じだと思います。自宅近くまでは除雪車が入ってきたのは、一年で一度あるかないかで、たとえ除雪に来て翌日はありません。昨年からは地区の方々がトラクターで除雪をしてくれました。しかし、その前までは、手作業で行っていました。除雪車が通った後の雪の処理などは、人の力では限界があります。僕が小学生のころ、役場に、通学路なので除雪をお願いしますと申し出たところ、区長に話すようにと言われたそうです。結局、何の改善もなく積雪のために道幅もせまく、子供たちが通るには危険な箇所もありました。今年のはじめも遊佐交通や遊佐保育園前の道路は、大型車が通るせいか、わだちができ、最悪の状態でした。通学路なのに、朝夕通っても除雪されているわけでもなく、どうかならないものかと思いました。去年の冬は、雪が多く除雪をするには、お金がかかるため経費がかさみ、財政状況も厳しいものがあつたと思いますが、今後このようなことがないともかぎりません。どうか、まずは安全な通学路の確保をお願いします。

また、少年議員で一人暮らしのお年寄りの除雪のお手伝いなどできることがあれば、その範囲で取り組んでいけたらいいと思っています。

**【A】** 地域生活課長の池田と申します。ただいまは、佐藤緑さん代読で池田貴裕さんから、効率的に除雪をというテーマでご質問をいただきましてありがとうございます。この内容については、町の除雪体制のありかた、その課題、的確に把握をされておりました。また、町の財政事情への心配りもあわせていただきまして本当にありがとうございます。まったくその通りのご指摘だというふうに受け止めました。

みなさん、冬、あるいは雪は好きでしょうか。夏よりはまだましかなという方もおられようかと思いますが、私たちはこの雪国に生まれ、育ち、そして暮らすものにとって、好むと好まざるに関わらず、この雪と戦い、あるいはよりそい触れていかなければならないという宿命がございます。昨年度のその戦いの一端をご紹介させていただきますと、昨年度といっても今年の1月4日からですか、約1か月にわたりまして、一日もおそらく雪解けといえますか、太陽がのぞくことがなくともう振りっぱなしの状態ですね。その除雪におおわらわだったと。つまり大変な豪雪だったということでもあります。かけた経費は、7,300万円。7,300万円です。通常3,000万前後で推移しておりますので、その倍以上というふうなことで、いかに雪が多かったかというふうなことがご理解いただけるかと思います。ちなみに、土木費といって道路だとか河川だとか、水路だとか、そういったものにかけた予算が、6億ちょっとでございますので、10パーセント以上除雪経費に費やしているということでございます。町の除雪のありかたについては、基本的な考え方として全町、格差があつてはならないという基本にたつております。朝の4時から場合によっては夜中の12時から休む間もなくというときもありますが、基本朝の4時から幹線の町道を中心に午前7時まで、つまりあの、みなさんやお父さんお母さんの通勤、通学にあわせて、それに間に合うように除雪をしております。幹線道路というのは村と村をつなぐ、あるいは村の中を通す、どちらかという太い道路であります。ですから、ご指摘にありましたとおり、その太い道路、集落間の道路は除雪を町で基本的に責任を持って行っているんですが、その小路、小路といえますか、集落内の狭い道路については残念ながら町の除雪車が入っていかない。あるいはいけないというふうな状況にありまして先ほど、町長の答弁にもありましたとおり、自主除雪作業支援事業としまして地域の集落のみなさんから、除雪をお願いしております。昨年度は、55集落においてのべ160団体の皆さんからご協力をいただいております。そのご協力なし



には、町の全体の除雪の体制はありえません。いわゆる、ボランティアに頼っているというところがございませぬ。特に昨年度、この豪雪にあつて力をいれたのが、時田町長の強い指示もありまして、小中学生の通学時の安全確保、あるいはお年寄りの安全確保といった意味で、歩道除雪をしっかりと対応させていただいたつもりでございませぬ。が、ご質問、ご指摘にもありませぬとおりに、まだまだ隅々まで行き届いていないということでございませぬので、今後とも先ほど申し上げた形での町の除雪対応を手を抜かないでしっかりとやっていきたいと思ひませぬし、地域のみなさんからもまたそれ以上のご協力をお願いしたいというふうにおもひませぬ。できれば、とひひませぬか自然からも、太陽からもまた顔を出していただいて、そういった自然の力をおかりして三位一体といひませぬか。そういった除雪の体制にあつていければと思ひませぬし、最後ご質問で結んでございませぬとおりに、少年議員で一人暮らしのお年寄りの除雪のお手伝ひ等に、できることがあればその範囲で取り組んでいきたいといったことがありませぬしたので、ぜひ、私どもからもお願いしたいなあというふうにおもひませぬ。今度の冬を、みんなでご協力し合つて克服していきませぬしょう。以上です。

## 一般質問

## 少年議員 佐藤 緑

**【Q】** この前の若者意見調査票の集計を見ると、退屈、何もないといった理由で、遊佐町が嫌いとお答へた人たちがいました。退屈、何もないといった理由がありませぬましたが、たしかに今の遊佐町は、若い人や子供たちが交流できる場も少なく、若者たちが楽しいと思へるような企画が何もないと思ひませぬ。なので、実現してもらいたいことにもあつたように、若者が集まる場所の設置を町から実現してもらえたらいいと思ひませぬ。主に、小学生、中学生、高校生を対象とし夏休みやゴールデンウィークなどの長期期間を使いゆざつとプラザや生涯学習センターの一室を無料開放してもらふなどし、少年議会、そして町の方に協力してもらひ若者たちが集まる場所の設置、整備ができたらいと思ひませぬ。夏休みなどの長期期間中は、図書館だけでは学習できる場所が足りないこともありませぬ。なので、学習の場としても設置してもらえたらいいと思ひませぬ。また、退屈とお答へた人の多くは、部活をしていない学生や、土日や祭日をひまに過ごしている人だと思ひませぬ。休日に友達とエルパで遊ぶとしてもそこで長くはいられないし、図書館にいつてもできることは限られていて、町体に行こうとしても有料のためお金を払わないと遊ぶことができません。そのため、行くところがなくなつてしまふことがあります。それなので、生涯学習センターの一室を無料開放してもらひ、交流したり遊んだりできる場所を作ってもらえたらいいと思ひませぬ。そこではいろんな世代の人と交流することで進路の話をしたり、友達や家族には話せない悩みを相談したりすることもできると思ひませぬ。普段あまり話すことのない人とも関わることもできるなど楽しいことがあるかもしれませぬ。なので、若者が交流できる場を作ってもらいたいと考えています。そして結果的には若者たちが交流や学習できる場をつくり遊佐は退屈な町だと思ひませぬている人が一人でも減つてくれればいいと思ひませぬ。また、少しでも多くの若者たちが遊佐をもつともつと好きになつてくれるような町をつくり活気づいた町にしていけたらいいと思ひませぬ。

**【A】** 佐藤議員のご質問のほうにお答へさせていただきたいと思ひませぬ。先ほど、大きな方向性ということでは、町長のほうから答へをいただいたところでごいませぬけれども、それにいたるまでにどのような形で、子供たち、中高校生の交流の場を、求めていつたほうがいいのかということ

# 政策 提言 ①

について、様々昨年もそうでしたけれども、ご要望をいただいていたテーマかなというふうにして思っています。昨年いただいて、少しはロビーのほういらないものも片づけたりしたところなんですけれども、そうはいつでもまだまだ十分にあそこで何かするとかっていうふうには、まだまだなくて、非常に不十分な対応になっているかなということを感じているところでございます。生涯学習センターの一室を利用できないかというご要望もございました。で、内部でも検討したところでございますが、かなり一般の団体の利用もあって恒常的にずっと一室を確保しながら利用していただくというような状況まで実際のところいかないということで現在までいたっているというところでございます。まあ、体育館もどうだろうかとか、さまざま、このエリアの中で、利用できる場所を検討したところでございますけれども、なかなか具体的にここでというふうなことで、設定をできない現状でございます。ただ、コーナー的に手始めに、どういったのか、コーナー的にどこかにとれないだろうかとか今担当のほうとも検討しているところでございます。どういう形で利用したいのか、あるいは交流の場がほしいのか、どういうものがあればいいのかというようなこと、少し具体的に詰めていきたいとか、課題を少し明らかにしていきたいなというふうな気持ちもでございます。ですので、まあ、これから今年、少年議会の中で何度かお集まりをいただく機会があるかと思えます。そういう場の中で、少しこんな感じでどうだろうかというようなご意見を具体的に少し意見交換しながら、手探りですが、この交流の場をどこかに求められればいいなというふうなことで感じているところでございます。以上でございます。

マニフェスト

## 少年議員 渡邊 渚月

私が実現したいことは、フリーマーケットです。私がフリーマーケットをやりたいと考えた理由は、2つあります。1つ目は、遊佐町にはイベントが少ないから楽しいことをしたいと思ったからです。若者の意見調査の結果で、少年議員に取り組んでもらいたい活動として、活性化、明るい町づくり、イベントの企画、開催などが入っていたのでフリーマーケットがいいと思いました。なぜフリーマーケットがいいと思ったかという、フリーマーケットなら、必要ではなくなったものを有効活用できるし、売る人も買う人も笑顔になれる楽しいイベントだと思ったからです。笑顔が増えると、意見調査の中にあつた明るい町づくりにつながると考えました。2つめの理由は、フリーマーケットを通して、普段話す機会のない年代の人と話し、交流を深めるいい機会になるのではないかと考えたからです。なぜ、交流をしなければいけないのかという、活性化のためです。たくさんの人と交流し知り合いが増えることで、町中で出会うたびに「こんにちは」「おはようございます」などのあいさつが町中に溢れ、そういった小さいことから町の活性化を図ることができるのではないかと考えたからです。しかし、フリーマーケットだけで、イベントとして企画してもそれだけでは、インパクトが欠け、人が集まらず盛り上がりたためイベントとして成り立たないのではないかと考えています。それなので、若い人を集めるなら「遊佐ロック」。遊佐町民以外の人も含めいろんな年代を集めるなら、「ツデーマーチ」などのイベントと合わせる方法が良いのではないかと考えています。これらのことから私はフリーマーケットをぜひ、開催したいです。

## 少年議員 栗田 葵

私が少年議員として実現したいことは、被災地支援です。具体的な活動内容は、募金活動、現地でのボランティア活動と、遊佐町の特産品である水や米などの食料などを届けることです。募金活動は、ツデーマーチなどの人がたくさん集まる様々なイベントで行います。ボランティア活動は、実際に被災地に行き活動を行います。また、その時に東日本大震災というものが、どれだけ恐ろしいものだったのか、その被害の大きさを、実際に被災した方からお話を聞く活動もしたいと考えています。理由は、3月11日に発生した東日本大震災でたくさんの被害を受けた、宮城県、岩手県、福島県などの県にたいして同じ東北地方の県として、私たちも何か協力できないかと思ったからです。また、日々のニュースや新聞で、子供たちが誰より笑顔で頑張っている姿を見て、私たちも頑張らなくてはと思ったからです。募金活動は、この前行われた西浜花火大会で一度行いました。呼びかけは大変でしたが、募金に協力してくださる方を見て、感謝の気持ちでいっぱいになり、もっと被災地のために募金活動を、他のイベントでもやろうと思いました。ボランティア活動は、実際に被災地に訪れてみることによって、テレビで見えていた時と被災地に対する思いが変わってくるのではないかと思ったからです。また、テレビからでは感じることでできない被災地の雰囲気や津波による被害の大きさや被災者の思いをじかに感じる事ができると思ったからです。特産品を届けようと思ったのは、地震の影響で食料が今でも手に入りにくい人たちがいるのではないかと感じたからです。特に生きていくうえで必要な水と主食の米は、遊佐町の特産品でもあるのでPRとしてでも良いのではないかと思ったからです。また、それがきっかけで特産品がもっと有名になればと思います。私はこれらのことが実現できるように少年町長、議員と協力して頑張りたいです。そして少しでも、東日本大震災の復興に役立ちたいと思います。

## 少年副議長 仲鉢 和真

私が取り組んでいきたいことは、美化清掃活動です。

私は、遊佐町はとても豊かな自然に囲まれていて魅力的だと思います。ですが、このまえ自動販売機の近くに缶がポイ捨てされているのを見ました。すぐ近くに缶が捨てられる場所があるにもかかわらず、ポイ捨てされていたので私はとても驚きました。その時の様子からそこだけでなく、他のところにもポイ捨てされているのだらうと思いました。そして、この状態が続くと草むらや水路などにごみを捨てる人がどんどん増えてしまうのだらうと思うので、私たちが率先して行動していくことでそれを防ぐことができると思いますし、町民に積極的に呼びかけていくことでポイ捨てする行為も減っていくと思います。このように呼びかけ等を通して、ボランティアでごみを捨てるイベントを企画することや美化清掃活動の際に危険なところや街灯等や必要なところを同時に調べたりできると考えています。遊佐町は自然が豊かできれいなところなので、汚いというマイナスのイメージはもったいないと思います。ごみをなくし、きれいにすれば、きれいなところはなかなかポイ捨てできないと思います。それにきれいになれば、もっと自信をもって遊佐をPRできるようになり、遊佐のいいところがどんどん増えると思います。これが私の取り組みたい政策です。

### 少年町長 茂木 惟孝

私は今年こそ遊佐ロックの企画を実行したいです。私は去年も同じことを政策提言として述べたのですが、時期も遅く時間もなかったということで遊佐ロックを実現することができませんでした。なぜ私が遊佐ロックを開催したいかという、おとし遊佐ロックを開催したとき友人が出演して、まわりの人たちが盛り上がっているのを目にしたからです。最近では東日本大震災という大災害により被災地だけでなく遊佐町の雰囲気も暗くなっている気がします。それなので、遊佐ロックをはじめとした様々なイベントを企画し実行していきたいと私は考えています。若い人からお年寄りまで参加できるイベントを考え、これで遊佐町のみなさんが「遊佐っておもしろい」と言ってくれるように頑張りたいです。ただ、やはり、遊佐ロックでは若い人だけが参加するイベントという感じがします。それなので、幅広い年代の歌も取り入れていきたいなあと考えています。そのためには、まず、遊佐ロックという名前を変えたいと思います。詳しくはまだ決まっていますが、遊佐町の人がたくさん参加してくれるような企画にしたいです。おとしは、参加人数が足りなかったように感じました。原因は私たちの告知不足にあったように思います。なので、広報に載せてもらったり自分たちがポスター描きをして、もっとたくさんの人が通るところに貼ったり、友人にも呼びかけをするなど改善、工夫してさらに人が集まるようにしていきたいと考えています。

### 少年議長 日高 龍功

僕は少年議員の日高龍功です。僕が、これから実現していきたい政策は、遊佐の伝統的な食文化を若者に伝えていくということです。僕がこの政策を実現したいと思った理由は、伝統的な食文化をとだえさせてしまうのは、もったいないなと思ったからです。僕は学校の選択の授業で遊佐の伝統的な食文化について学ぶ機会があり、食文化を伝える取り組みをしている団体の方たちと実際に作ってみました。しかし、そのことを遊佐の同年代の人たちに話してみても反応があまりなく、中には、そんなものは知らないという人までいました。それを聞いて僕は、どうしてあんなにおいしいものを知らないんだろう。もったいないなという気持ちになり、同時にそれは問題であると感じました。このまま若い人たちが遊佐の伝統的な食文化に興味を持たないままだと、それ自体が徐々になくなっていってしまいます。もし、自分の町の伝統的な食文化が無くなってしまったとしても、そのことで直接的に困る若者はあまりないかもしれません。しかし、僕は、伝統とは簡単に無くしてよいものではないと考えています。例えば特産品である笹巻きは、起源から約80年伝えられて今にいたります。こうして伝わってきたということは、伝えたい、残したいという気持ちがそこにはあったからだと思いますし、今活動している団体の方たちもそうした思いを大切にしているのだと思います。僕はその方たちの気持ちを無駄にはしたくないし、なによりも今まで伝統的な食文化に興味を持っていなかった僕が、その団体の活動に心を動かされたように、きっと若者の心も動かせるはずだと思ったからです。具体的にどのようにして伝えていくかについては、まず、遊佐ロックのような若者を中心としたイベントで少年議員みずから作った特産品を販売、配布したり、今特産品作りなどに取り組んでいる団体と連携して、伝統的な食文化の起源や、その作り方を学ぶことのできる場を設けたりしていきたいと考えています。これらのことから僕はこの政策を実現したいと思っています。

# 少年議会

## 政策 提言

# 2

【第9期活動報告・最終提言・次期少年議会に望むこと】

平成23年12月18日（日）

第3回少年議会

全体総括

## 少年町長 茂木 惟孝

私たち第9期少年議会の活動をはじめて早くも半年が立ちました。少年議会活動を行っていくにあたって自分たちと同じ世代である中高生の意見を聞き、それに沿った活動をしていくために若者の意見調査を実施しその結果を参考にしてきました。遊佐町に対する気持ち、特に何かイベントを開催してほしい、活気がほしいというものが多く、その思いを受け止め、豊かな自然や伝統行事など、受け継がれてきたものを引き継ぐ、若者が楽しめる町づくりという二つのキーワードをもとに半年間活動をしてきました。この目標の実現に向け、若者の居場所づくり、特産品づくり、被災地支援等のさまざまな活動に取り組みました。地域の方々からご理解、ご協力に支えられ多くの政策を実行に移しましたが、形にすることができなかったこともあるので、できればその部分については、次期少年議会から引き継いでほしいと思っています。

しかし、その前にあともう少しで形にできそうな政策もあるので、可能であれば2月末ぐらいまで引き続き第9期少年議会として活動を続けさせていただきたいと考えています。よろしくお願いします。

議会報告

## 少年町長 茂木 惟孝

私は、若者たちが集まるイベントとして今年こそ「遊佐ロック」を開催したいと思いました。

まず、遊佐ロックという名称を変えて遊佐ミュージックフェスティバルという名称に変えて幅広い年齢層の大勢の人が集まってくれるようなイベントにしようと考えました。しかし、開催したいとは思っていてもイメージはなかなか湧いてきませんでした。どうすれば人がたくさん来てくれるか、対象はどの年代にするかなどいろいろと考えているうちに、開催できる日程がどんどん遅くなってしまいました。また、最初、出演者は幅広い年代の方から来てもらうために、遊佐高校や遊佐中学校の生徒だけでなく、混成合唱団やポップキッズなどの団体から参加してもらえればたくさんの方が来てくれるのではないかと考えていました。しかし、どのような趣旨でどのように開催したいかという考えがまとまっていなかったため、うまく思いを伝えることができませんでした。そのことも踏まえて、再び話し合い今年こそは若者にターゲットを絞って開催しようということで話がまとまりました。開催場所についても悩みましたが、生涯学習センターの2階にある大会議室で行うことにしました。そこで会場があふれるくらいの方が集められればよいと考えたからです。私は、このイベントを実施して未来を担う若者が活気づいてくれたらうれしいと思っています。去年の3月に東日本大震災が起り、東北地方は、大きな被害を受けました。その後も放射線による影響など、暗い話ばかりになってしまいました。しかし、遊佐ミュージックフェスティバルを開催することを通じて、音楽や人との交流を楽しむことを通じて、元気づけられるのではないかと考えています。可能であれば引き続き次期少年議会からも取り組んでもらい、だんだんイベントの規模を大きくしていき、遊佐のメインイベントと言われるようなものにしてもらえたら、うれしく思います。

## 議 会 報 告

## 少年議員 伊原 伊織

私は、公共交通機関の整備について報告します。前期少年議会で取り組まれた JR に対する普通列車の増便、もしくは運行ダイヤについての要望は、要望書にまとめるところまで進められました。しかし、要望書を提出する直前に3月11日の大震災が起り、提出することができませんでした。そのため今期の少年議会で引き継ぎ、延ばし延ばしにはなりましたが、前期少年議会で作った要望書をこれから提出しにいきたいと考えています。昨年のアンケート結果では、電車を増便してほしいと答えた方が答えた方がたくさんいました。今年も変わらずそう思っている人は大勢いると思うので、この要望が通り、少しでも遊佐での生活が快適になればいいと思っています。私は、今年少年議員になって遊佐町のいろんなイベントに参加したり、様々な政策に関わってきたりしてきました。盆踊りや、子育てフォーラムをはじめとした今まであまり詳しく知らなかったイベントに参加することもできたし、遊佐についてもいろいろと知ることができました。そのため、私にとって少年議員としての経験は、遊佐について多くを学ぶいい機会となりました。ありがとうございました。

## 議 会 報 告

## 少年議員 渡邊 渚月

私の政策はフリーマーケットの開催でした。開催するにあたって、まず町民が楽しめることを目標にしました。しかし、計画的にスケジュールを組むことができず、思っていたような形での開催はできなくなってしまいました。また、フリーマーケット単独での開催だと人を十分に集めることができないだろうという話し合いの結果から遊佐幼稚園のぽっかぽかクラブという団体の主催のバザーに参加させてもらう形での開催となりました。ですが、幼稚園との事前の打ち合わせから参加する必要があるにも関わらず、その打ち合わせを十分に行うことができない上に、フリーマーケットで売るもの自体を十分に準備することができないままに参加する形となってしまいました。そのため、割り当てられた場所は、人がなかなか集まらないところになるなど、想像していたものとかかりかけ離れた結果となってしまいました。ですが、今回の自分が取り組みたいと考えていたフリーマーケットの実施という政策に挑んでみて、とてもよい勉強になったし、貴重な経験となりました。私は、第9期少年議会をやらせていただき、遊佐町のイベントにたくさん参加したり、少年議会のみなさんや、役場の方々、あまり話す機会がなかった町民のみなさんなど、いろいろな人と出会ったりと、たくさんの貴重な経験をすることができました。ほんとに、少年議員になってよかったと思っています。今期の活動を通して、また来期も少年議員になり活動を続けたいと思いました。以上で私の発表を終わります。ありがとうございました。

## 議 会 報 告

**少年議員 池田 貴裕**

今年初めて少年議員に入り、部活などがあって、あまり活動には参加することができませんでしたが、参加できたイベントや活動では、さまざまなことを体験して学ぶことができました。まずは、西浜の花火大会です。そこでは、ゴミのポイ捨て禁止を呼びかけ、来客一人一人のポイ捨て禁止という意識を高めることができました。また、チラシやティッシュを配っているときなど、来客の方々とのおふれあいで、少年議会に入ってから達成感を覚えることができました。次に宮城県石巻市での被災地ボランティア活動です。その時まで私は、テレビなどでしか今の被災地の現状を知ることができませんでした。しかし、被災地に足を踏み入れた瞬間、目に飛び込んできた光景は信じられないものでした。ある程度は片付いていましたが、がれきの山やむき出しの家の土台、一か所に集められた壊れた車などがありました。とても心が痛みました。またそれは同時に被災者のために何かしなければと強く思った瞬間でもありました。その時の作業内容は、側溝の泥上げで、とても大変でしたが、被災者の方々と比べたらと思うとさらさらがんばろうと思いました。また、政策である除雪に関しては、雪も降ってきているので早急にみんなと話あって、できる範囲で改善策等を考えていきたいです。

## 議 会 報 告

**少年議員 加藤 敦子**

私は、少年議員として被災地でのボランティア活動や、各イベントでの募金の呼びかけなどに力を入れて取り組みました。今年は東日本大震災でたくさんの人たちが地震や津波で大きな被害を受けました。私たち少年議員も同じ東北の人間として何か力になれないかと話しあい、遊佐町夕日まつりなどのイベントでの募金活動や遊佐中学校の輝雄祭や遊佐高校の体育祭の際に支援物資の募集を行ってきました。支援物資の募集に関しては、事前に提供お願いのチラシを配布したこともあり、多くの物資が集まりました。このことから、改めて日本人の絆の強さを感じることができました。10月27日と12月10日には、直接宮城県石巻市に行きボランティア活動をしてきました。作業内容は、側溝の中にたまっている土や泥をスコップでとり出すもので、一番ひどいところではヘドロがたまりすぎて水が流れなくなっていました。作業していて何度も大きな石を拾い津波の威力がどれほどすごいものであったか伝わってきました。午後には被災者の方から被災当時や今の生活について詳しい話を聞くことができ、地震や津波の恐ろしさについて教えてもらうことができました。実際に被災地に行ってみてたくさんの命を奪った自然の力の恐ろしさや命の尊さについて学びました。大切なことは、これから先もこのような事実があったということを忘れないということだと思いました。私はこれからも日本全体が前向きになり以前よりも暮らしやすい環境づくりに携わっていけたらいいなと思っています。そして、次期少年議会でも被災地のボランティア活動を引き継いで取り組んでもらい少しでも早く復興できるように頑張ってもらいたいです。

## 議 会 報 告

## 少年議員 栗田 葵

私が今年少年議会で力を入れて取り組んだ政策は、ジブリを通した遊佐町のPRです。みなさんもよく知っているもののけ姫や千と千尋の神隠しなど多くの有名な作品を作り、見た人に感動を与えると同時に様々なメッセージを送っているジブリに、お手紙や遊佐町の美しい景色を写した写真、ビデオレターなどを送り、遊佐町に興味を持ってもらおうと思いました。なぜなら、遊佐町のPRだけでなく少年議会のPRにもつながると考えたからです。この企画を考えたときは、手紙と遊佐町の美しい景色や観光スポット等PRしたいところや遊佐町に住んでいる人たちの笑顔の写真を同封して送ろうと思っていました。その中で子供たちからも遊佐町に関する絵や手紙を書いてもらう予定でしたが、政策の趣旨をうまく伝えられなかったことや子供たちには難しいと考えたため、絵や手紙よりも伝わりやすいビデオレターにすることにしました。まだ、この案は最近提案したばかりなので、実行には移せていませんが3月までみんなと話し合いを重ね、協力して挑んでみたいと思います。私が今年少年議員として活動してみても学んだことは、遊佐町を別の視点から見るといことです。私が今回取り組んだ政策では、遊佐の美しい所の写真を撮影するという活動を重点的に取り組みました。少年議員の皆さんと一緒に遊佐めぐりをして今まで自分が気づかなかった遊佐の良さや美しさ、そして町民のみなさんのあたたかさに触れることができました。この遊佐めぐりは遊佐の新しい発見と遊佐について改めて考えることができる良い機会になると思うので、来年の少年議会でもぜひ続けてほしいと思います。今年は東日本大震災があり被災地の人たちは今も団結し、復興に向かって頑張っています。来年の少年議員でも協力団結して遊佐をもっともっと良くして行ってほしいです。

## 議 会 報 告

## 少年議員 菅原 あかね

私は、今年度少年議会で被災地支援を力を入れて取り組んできました。今年の3月11日に発生した東日本大震災、この地震で宮城県は特に大きな被害を受けました。そこで私たちは、同じ東北の人間として何か協力できないかと思い、募金活動、宮城県石巻市での現地ボランティア活動、支援物資の募集提供を行いました。募金活動は自分たちで募金箱を作り、7月30日の遊佐町夕日まつりなどの人がたくさん集まるイベントで呼びかけを行ってきました。多くの方のご協力でたくさんのお金が集まりました。集まったお金は、今後適切な機関をとおして現地に届けたいと考えています。宮城県石巻市でのボランティア活動は、2回行いました。1回目は10月27日に行き、側溝の泥上げ作業と被災地見学をしてきました。2回目の12月10日には、遊佐高校の生徒会執行部とソーラン部と話し合いを重ねて調整して一緒に行ってきました。内容は側溝の泥上げや被災地見学に加え実際に被災した方からも話を聞きました。支援物資の募集提供は遊佐高校で10月16日にあった体育祭、12月15日にあった地域公開研究発表会で行いました。事前に募集する物資の内容を書いたチラシを配布していたので、当日または後日にたくさんの物資が集まりました。集まった物資は可能であれば直接、それができなければ支援物資を取り扱っている社会福祉協議会やボランティア団体などを通して現地の方々に届けたいと考えています。このように私たち少年議会は、被災地の皆さんのためになるような活動を継続的に行って



きました。私は、実際に被災地についてボランティア活動ができたことが一番良かったと思っています。正直、最初は忙しくて現地には行けないのではないかと考えていました。しかし、実際に現地についてボランティア活動を行い、被災された方のお話を聞き、被災現場を見学することによってどういう状況なのか、被災された方がどれだけつらい思いをされているのか、少しですが、理解することができました。これらのことを踏まえてぜひ、来年度、再来年度と活動を継続して復興するまで頑張ってもらいたいと思っています。私は、今年度遊佐町がよりよい町になるように少年議員として様々なイベントに参加し、また自分やほかの少年議員の政策が実現するように全力で頑張ってきました。最初、私はなかなか意見を言うことができませんでしたが、活動をしていく中で、徐々に言えるようになりました。そして今、少年議員になって本当によかったと思っています。

## 議 会 報 告

### 少年議員 佐藤 緑

私は少年議員として様々なイベントに参加してきました。遊佐町夕日まつりでは、募金活動への呼びかけや環境美化啓発のチラシをはさむティッシュを会場を走り回って配布したり、環境美化啓発活動、海岸美化清掃に関するアナウンスをしました。盆踊り大会に参加し第9期少年議会のPRを行いました。第19回奥の細道鳥海ツーデーマーチでは、町外からの参加者を含めたウォーカーのみなさんに遊佐町と少年議会のPRをするとともに激励のエールを送りました。20周年記念の図書館まつりでは、子供の引率や風船配り、米〜ちゃん、ライちゃんの着ぐるみをきての子供の来場の歓迎、前期少年議会が制作した「米〜ちゃん一家のきめことば」の読みきかせ、抽選会のお手伝いをしました。また海岸美化清掃のときにボランティアサークルくじらの人たちと一緒に清掃したり、被災地支援では、遊佐高校生徒会を通して多くの高校生を参加させたり、少年議会の活動を少年議員だけで取り組むのではなく、周囲の中高生をまきこんで活動の幅が広がるような工夫をしました。これらのことを通して少年議員を経験したからこそ参加することのできたイベントや遊佐町の実状について知ることができたし、様々な立場の人たちと関わることを通して視野や人間としての厚みが増したように思います。少年議員としての任期は終わりますが、これからも遊佐町が活気づいた町になるよう考え、行動していきたいと思っています。

## 議 会 報 告

### 少年副議長 仲鉢 和真

私は環境美化啓発活動について取り組みました。はじめは清掃活動について計画しました。私は道を歩いているとき設置されているごみ箱のとなりに缶やペットボトルが無造作に捨てられていたのを見たことがきっかけでした。しかしごみのポイ捨て等について調べてみると、小さなゴミは落ちていても大きなゴミは落ちていないということがわかりました。このため、政策を転換し直接取り組むことになりました。政策を転換しなければならなくなったことは残念でしたが、遊佐町がとてもきれいな町だということがわかったので、それはそれでよかったと思いました。植栽では、公園に花や木を植え、華やかにできたらいいなと思い、検討しました。しかし、計画にスケジュールを立てることができなかつたため12月末まで形にすることができませんでしたが、2月いっぱいまで植栽の活動を続けていきたいと考えています。アンケートを作成、回収して、それを参考にし地域の人たちと意見を聞き、それを反映

させて中央公園にあずまやや遊具、植栽する花や木を決めていきたいと思います。少年議員を経験して印象に残っていることが2つあります。1つは、被災地支援のことです。あの時の光景は今でもはっきりと覚えています。現地での作業は少し大変でしたが、津波の恐ろしさや被災者がどんなつらい思いをしているかということがわかったので現地において良かったと思うとともに、少しだけですが力になったのではないかと感じました。それから2つ目は、鹿の角きりです。鹿の角を切るのは初めてで、難しかったし、テレビ等のメディアも取材にきていたのでとても気恥ずかしかったのですが、非常に貴重な体験ができたのでよかったです。私は、人と話すことが苦手な人間ではじめは少年議員として活動していくことがとても不安でした。しかし、職員の人たちや少年議員のみんなから力を貸してもらい、自分を変えるきっかけになったし、自分の自信や力になりました。本当に感謝しています。形にすることができなかったこともあるし、いろいろなことに取り組むことができなかったけどいい経験になったと思っています。これからも遊佐町のことについていろいろと考えていけばいいなと思っています。

## 議 会 報 告

### 少年議長 日高 龍功

私は今年度遊佐町の特産品を町の若い人たちに知ってもらうために特産品開発という政策に取り組んできました。まず初めに考えたのは、どのような特産品を作るのかということでした。全員協議会で話し合っただけで決まったことは、前年度に開発された芋煮コロッケとアップテトを引き継ぎ、新たにパプリカのクレープを作ってみようということでした。クレープは前年度の試作の段階で失敗してしまったようですが、去年のものを今年につなげるためにも頑張ることにしました。この3つの特産品を完成品にするために、二度試作を行いました。試作を行うにあたっての問題が2つありました。まず一つ目は、やはりクレープでした。一度も調理したことのない野菜であるパプリカをどのようにしてクレープに組み合わせるのかということは、とても考えなければいけませんでした。そして2つ目は、芋煮コロッケの改善でした。前年度で販売されたものの改善する点が多く、作るのに手間もかかるので大変でした。

しかし、いざ1回目の試作に臨んでみると協力してくれたみんなの手際がよかったことや前少年町長である佐藤翼さんから手伝ってもらうことができたのでとても順調に作ることができました。しかも2回目の試作では、それ以上においしくなり完成したといってもよいほどになりました。そしてこれらの特産品は12月に行われる歳の市と1月の音楽祭で販売、配布される予定なので、若い人を中心としたたくさんの人に食べてもらいたいです。僕は今回、少年議員の議長になり、様々なイベントに参加したり自分で政策を考え活動したり、今ここでしているように大勢の人たちの前で発表したりしてきました。去年ほとんど家で遊んでいた僕と比較すると、当時では考えられないことでありすべてが新鮮でした。楽しい時も大変なこともありましたが、僕が少年議員としてこの遊佐町でやってきたことは、すべて経験として無駄なことはひとつもなかったと感じています。今まで協力してくれた少年議会の方々や町民のみなさんには、本当に感謝しています。そして次の少年議員には、もっと楽しいイベントや町民を巻き込むような企画をたててほしいです。みなさん本当にありがとうございました。

# 有権者（中高生）の町への意見

平成23年度 遊佐町少年議会若者の意見調査

1. 調査対象 : 有権者913名
2. 調査手法 : 各学校での公報チラシ配布時に配布、後日回収・集約
3. 調査時期 : 平成23年6月6日～6月10日
4. 調査結果

問1 あなたは、遊佐町が好きですか、きらいですか。その具体的な理由とあわせて記入ください。

区分	数	割合
好き	681	85.6%
嫌い	98	12.3%
どちらでもない	10	1.3%
無回答	7	0.9%
合計	796	100.0%

好きな理由TOP10

理由	数	割合
①豊かな自然	466	27.4%
②豊富な湧水に恵まれた美しい水	240	14.1%
③優しさや明るさに溢れ町民	142	8.4%
④静かな環境	131	7.7%
⑤お米を始めとする農産物等食糧	113	6.6%
⑥田園等の美しい景色	90	5.3%
⑦美しい鳥海山麓	88	5.2%
⑧澄み切った空気	62	3.6%
⑨交流が活発	53	3.1%
⑩生まれ育ったふるさと	41	2.4%
その他少数意見・無回答	274	16.1%
合計	1,700	100.0%

※複数回答あり

※その他、少数意見の主なもの

- ・田舎ならではの風景
- ・珍しい動物や鳥、虫などがたくさんいるから
- ・夕焼け
- ・安全
- ・きれい
- ・挨拶が活発
- ・住みやすい

きれいな理由TOP10

理由	数	割合
①何もない	20	27.8%
①店が少ない	20	27.8%
③田舎だから	14	19.4%
④楽しめる場所や行事が少なく退屈	5	6.9%
⑤不便	4	5.6%
⑥交通の便が悪い	2	2.8%
⑥虫が多い	2	2.8%
⑥臭い	2	2.8%
⑥自然環境が悪化	2	2.8%
⑩雇用がない	1	1.4%
合計	72	100.0%

※複数回答あり

問2 あなたは、少年町長・少年議員に  
どんなことを実現してもらいたいとおもいますか

頻出ワードTOP10

キーワード	数
①イベント	158
②清掃・環境保全活動	87
③インフラ整備	51
③より良い	51
⑤活気がある(活性化)	45
⑥明るい(笑顔)	44
⑦広報(PR)・広聴	29
⑧楽しい	24
⑨ボランティア活動	21
⑩観光産業(特産品)の活性化	17

問3 あなたは、少年町長・少年議員と一緒に  
参加・協力してみたいことはありますか

TOP10

実現してもらいたいこと	数
①清掃・環境保全(エコ)活動	134
②イベント開催・参加	68
③ボランティア活動	60
④被災地支援	27
⑤挨拶運動	13
⑥アンケートの実施・協力	14
⑦世代間交流	3
⑧特産品作り	2
⑨都市化	2
⑩その他(協力したい)	32

## 平成23年度遊佐町少年町長・少年議会公選事業プロジェクト名簿

	所 属	職 名	氏 名
1	議会事務局	次長兼議事係長	今野 信雄
2	総務課	総務係主任	菅原 潤(選挙管理委員会)
3	企画課	課長補佐兼企画係長	高橋 務
4		企画係主任	石垣 学
5	教育課	課長	菅原 聡
6		学校指導係長兼指導主事	後藤 司
7		総務学事係主事	遠田 久幸
8		文化係主事	高橋 英里
9		社会教育指導員	佐藤 正子
10		課長補佐兼社会教育係長	御船 克彦(事務局)
11		社会教育係主任	佐藤 修(事務局)
12		社会教育係主事	高橋 まり子(事務局)
13		社会教育係主事	小田原 知之(事務局)

○遊佐町少年町長・少年議員公選事業の実施のため、遊佐町役場内にそのサポートのためのプロジェクトチームを立ち上げる。

○プロジェクトチームは、実際の事業を執行する際、直接若者達の支援を行う。

※担当課 議会事務局・選挙管理委員会・総務課・企画課・教育課